

## 1<sup>st</sup> International Symposium on Aqua Science, Water Resource and Innovation Development of Countryside 開催報告 (地方発水の科学・水資源国際シンポジウム)

組織委員長 山崎伸道(大阪大学先端科学イノベーションセンター 特任教授(客員教授))

平成19年11月26-30日に高知県佐川町主催の上記国際シンポジウムが開催されました。

出席約150名(うち外国人約30名、参加国12カ国)でした。まず橋本大二郎高知県知事の挨拶から始まり、名誉組織委員長の西澤潤一首都大学学長のメッセージ、そして従来では珍しい「地方の町主催」である佐川町長の開会宣言で幕をあげました。基調講演では、学士院賞受賞記念講演として日本大学教授・加藤康司先生より「機械と水」をトライボロジーの視点からお話頂き、ついでNASAの宇宙パイロット選考で毛利衛さんらと最後に残られ、現在でも重力と生理現象を追及されている大阪大学の大平先生より宇宙からみた地球の水の話、またNHKプロフェッショナルで紹介された和製インディージョーンズと呼ばれる広島大学の長沼准教授には生命の誕生と水の話、上海同済大学の金教授からは上海の水問題などエキサイティングな講演をいただきました。

3つのセッションでは、ミクロ科学、マクロ科学、そしてグローバル課題に関してキーノート講演を主体とした講演を行い、参加者に多くの感動を与えました。参加者のプレゼンテーションは専門別の口頭発表は円卓会議で、ポスター(50件)は会期中継続して掲載し、併せて佐川町の誇る工芸作品、美術作品の展示を行いました。円卓会議のオーラルプレゼンテーションでは質疑応答時間を無制限としました。そのため、午後から始めた円卓会議は終了時間を設けず、座長と参加者に進行をすべて任せるという方式を取り、参加者には十分に満喫できる会議でした。

地方発という内容では、中央と地方の格差問題が、地球規模の南北問題と重なるという意識から、パネルディスカッションを行いました。

特に山、川、町、海というグローバルな環境問題を全体につながる身近な課題として「川」を中心に会場を交えて質疑応答を行いました。最後に結局は人間の問題であり、教育問題に帰結するという結論になりました。

エクスカーションは日本最大の石灰鉱山 鳥形山、横倉山自然の森博物館、採取した石灰を原料とした先端機能性ミクロカルサイト製造工場である白石工業の土佐工場、佐川町地元の酒造メーカー「司牡丹」を見学、また地質館、明治維新の資料で有名な青山文庫の無料開放、高知県3名園のひとつを持つ青源寺での日本茶の接待など充実したものでした。

バンケットでは壮大な和太鼓でお迎えをし、マンドリン合奏で豊かな情感を楽しんでいただき、また真剣による迫力ある伝統的な太刀踊りを堪能いただきました。さらに日本酒では、ロシアのソユーズに積み込み無重力を体験させた酵母でつくった純米吟醸酒(「土佐宇宙酒」と銘名し、高知県内18の蔵元で発売)を味わっていただきました。

組織委員および国際顧問によって選ばれたポスター賞をこのバンケットで発表、賞状と記念品の贈呈を行いました。氏名とタイトルは以下のとおりです。

- (1)大村美央(九州大) ・ New Method for the Sterilization Using High Pressure
- (2)西本博宣(大阪府立大) ・ Synthesis and Characterization of Bulky Mesoporous materials by Hydrothermal Hot-pressing Method
- (3)Q. Liu(中国・清華大) ・ Influence of poly acrylic acid on the dispersion of calcite nano-particles

最終日には各円卓会議の座長から報告を頂き、閉会式に移りました。

主催者として町長の挨拶そして組織委員長からロゴマーク入りの旗を次期会場の上海同済大学の金教授に手渡し、次期開催地の案内がありました。閉会宣言を組織委員長が述べて感動のうちに幕を閉じました。

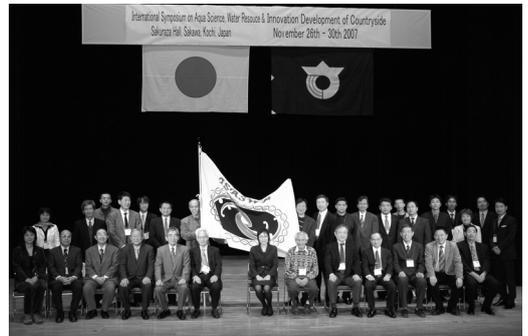
この大会の成功は今後の学会の運営のあり方におおきな示唆を与えるものであり、さらに田舎といわれる場所で、地元の方々の熱い思いと参加者の融合がいかにおおきな感動を呼ぶか、ということを実感しました。落ち込んでいる地方にこそ、学問や新規の技術をもった人たちに触れ合えるという感動が新たな勇気と希望をもたらすことになると思います。

これから国際シンポジウムを計画なされる方々、学会の関係者にできるだけの情報とこの大会のノウハウをお伝えしたいと思います。

(2008年1月11日受付)



鳥形山でのフィールドエクスカーションの  
巨大シャベルカー前の記念写真



閉会式の模様